

2019年度冬学期 都市工学輪講

## 都市解析輪講

～都市解析関連の論文・書籍の精読～

本輪講では、都市解析に関連する論文を題材として、その内容を参加者同士で議論いたします。都市空間の密度・配置・動きなどについて、都市計画論文集や日本建築学会論文集（計画系）等に掲載されている論文から選定したものに加えて、最近出版された下記書籍を輪読することも検討中です。

腰塚武志，2019，応用のための積分幾何学 図形の測度：道路網・市街地・施設配置，近代科学社。

※腰塚武志先生は都市工学科第一期生です。

想定する参加者は、学部3年生から大学院生までです。まちづくり大学院の学生も歓迎いたします。地区の実態認識と評価，設計演習を経て数理的な基礎の必要性を実感した方にはオススメです。

毎週1回程度の頻度で、参加者には、論文または書籍の各章を2回程度担当してもらう予定です。学部生には上述の日本語の論文、大学院生には希望に応じて英語の論文を扱ってもらうことも検討中です。各回で扱う論文または書籍の各章を事前に読み、議論に参加することを必須といたします。

**2019年10月2日（水）の18時45分から**、工学部14号館806号室にてガイダンスを開催いたします。輪講に参加予定の方でガイダンスに参加できない方、参加するにあたって質問等ある方は、下記問合せ先までご連絡ください。

担当：住宅・都市解析研究室 浅見泰司 教授，薄井宏行 助教  
問い合わせ先：usui@ua.t.u-tokyo.ac.jp